

# MORES® CLUB



2024  
Winter  
VOL.02

## information モレスからのお知らせ

### 安全で安心な住まいづくり 第三者現場施工品質監査を導入。

モレスでは、安全で安心な住まいをご提供できるよう、第三者機関による現場施工品質監査システムを導入しています。(※) 施工工程の後戻りができない主要なタイミングで、細やかな品質監査を実施。第三者による明確な施工基準でしっかりチェックすることで、安全で安心な住まいをつくりあげていきます。また、将来的に売却される場合などに有効な現場の工程記録を一冊にまとめた「現場監査記録書」と、第三者監査を実施した証しの「施工品質監査済証」を建物完成後にオーナー様へお渡しいします。

※2024年10月着工分から随時導入



■ 現場監査記録書(例)/PDFでのお渡しとなります



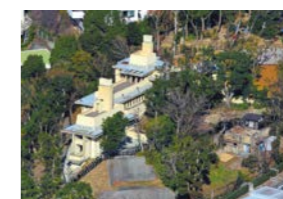
■ 施工品質監査済証(例)

※第三者現場施工品質監査の詳細内容は次回でご紹介します

### ヨドコウ迎賓館の敷地全体が 国の重要文化財に指定。

「MORES CLUB」創刊号(2024年4月発行)でご紹介した「ヨドコウ迎賓館」(兵庫県芦屋市)の敷地全体が、これまでの建物部分(※)に加えて、2024年8月に国の重要文化財に指定されました。とくに東側敷地の付属建物や施設が主屋と一体として設計され、庭園としての機能を有していたと考えられることが判明し、これがF.L.ライトの建築理念「自然環境と調和した有機的建築」であることが評価されました。加えて、試掘調査をした結果、新たな遺構が出土されたことも指定の要因の一つになりました。

※1974年に国の重要文化財に指定された建物部分



■ ヨドコウ迎賓館 外観



■ 東側敷地に現存する遺構(階段・擁壁・半地下の建物)

### 法律・税務・ファイナンシャルプランなど ご入居後の様々な問題に対応するご相談窓口を設置しております。

#### 法律・相続・税務 相談窓口

ご入居後の住宅ローン控除や取得税などの税金相談、権利関係や近隣問題などの相談、相続に関する法律や税務の相談など、ご自宅の不動産にまつわる様々な課題を解決する相談窓口を設けています。



#### FP (ファイナンシャルプランナー) 相談窓口

ご転職やお引越、住宅ローンの借り換えや一括返済など、ライフプランや資金計画が変更となった場合には、ファイナンシャルプランの見直しが必要です。モレスでは、新築時と同様に、専属のファイナンシャルプランナーによる相談をお取り次ぎしています。



阪神間のデザイン住宅を手掛ける「建築デザイナー」募集!  
「お客様の理想を叶える家づくりをしたい」そんな想いのある方、私たちの新しい仲間になりませんか?

詳しくはこちらをご覧ください



MORES®  
FOR FUTURE HOME

お電話でのお問い合わせ (10:00~18:00/火・水定休)

0798-26-0100

〈公式WEBサイト〉

モレス

検索



〈フェイスブック〉



〈インスタグラム〉



〈X〉(旧Twitter)



〈ライン〉

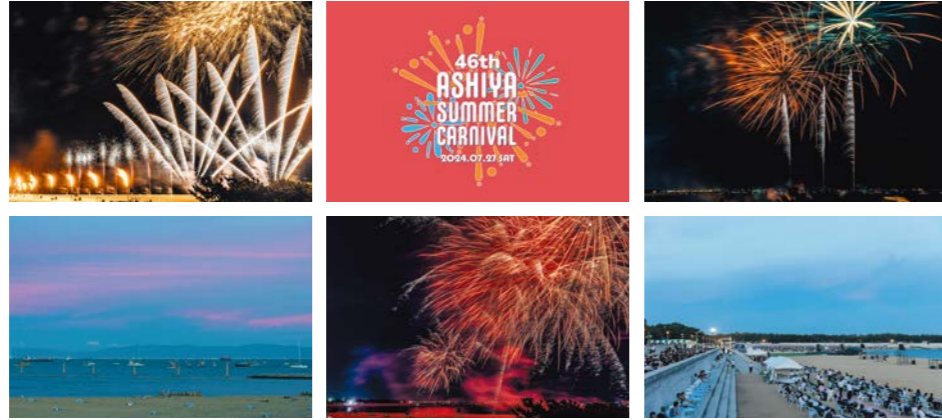


〈YouTube チャンネル〉



株式会社モレス 〒662-0917 兵庫県西宮市与古道町1番13号

Copyright © 2024 MORES CO., LTD. All Right Reserved.



モレス創業20周年記念

第46回芦屋サマーカーニバル「モレスシート」ご招待企画に  
多数のご応募、ご参加ありがとうございました。

2024年7月27日(土)、気持ちの良い天候に恵まれ盛大に開催された第46回芦屋サマーカーニバル。

創業20周年を記念してご用意いたしました「モレスシート」に、

たくさんの方のモレスオーナーの皆さまにお越しいただき、ありがとうございました。

皆さまそれぞれ、思い思いの夏の夜を楽しんでおられたご様子でした。

また、本当に数多くのご応募をいただきましたこと誠にうれしく、心より御礼申し上げます。



今日はとても良かったです。  
食事ほんと、美味しかったです。  
西宮市・Oさまご家族



子どもが小さいので、  
安心できるモレスシートで楽しめました。  
西宮市・Nさまご家族



会報誌を見ました!  
そこからインスタグラムを見て参加しました。  
西宮市・Mさまご夫妻



家族みんなでこの席に座れて  
大満足。素敵な夏の思い出ができました。  
西宮市・Aさまご家族



特別待遇みたいで  
なんだか気持ちがいいです!  
神戸市灘区・Yさまご夫妻



「若水(わかみず)」とは、元日の早朝、その年に初めて汲んだ水のこと。若水は神聖な水で、お正月に飲むと一年の邪気を払う縁起の良い水とされ、神棚にお供えをし、お雑煮や大福茶に用いられます。現代では一般的な行事ではなくなりましたが、「若水迎え」といって、できるだけ遠方に汲みに行くのが良いとか、縁起の良い方角の井戸や湧水で汲むのが良いなどと考えられ、さまざまなしきたりが残っている地域があります。

新年を寿ぎ、  
幸せをいただく

お正月にいただく「お雑煮」は、歳神様にお供えたお餅を新年最初に汲んだ「若水」で煮込んで食べることで、「歳神様に幸せをいただく」という意味を持ち、室町時代よりおもてなし料理として始まったといわれています。京都を中心とした関西圏が白味噌であるのに対し、関東地方など大部分がすまし汁で、お餅の形にも違いがあり、沿岸部は海の幸、山間部は山の幸を取り入れるなど、さまざまな気候や風土が、多彩なお雑煮のスタイルを生み出しています。大切な家族の幸せや健康を願い、家族の絆を育んでくれるお雑煮を囲んで、良き一年のはじまりを寿ぎましょう。

目次

contents

- 02 Thanks Report
- 03 SPECIAL CROSSTALK  
FM802×MORES  
これからも挑み続ける心を大切に。
- 07 名建築を訪ねて  
Vol.02 国登録有形文化財 関西学院大学 時計台  
【兵庫県 西宮市】
- 11 モレスの住まい、モレスの人  
#002 泉大津市 N様邸  
二つの庭で  
自然とつながる家
- 17 MORES PREMIUM CONCEPT HOUSE  
モレス設計部 瀬戸山 僚が語る  
「モレスプレミアム、コンセプトハウスに託した想い」
- 21 MORES TOWN INFORMATION



MORES CLUB

2024 Winter VOL.02

今号の表紙を飾るのは、兵庫県のアウトサイドリビングのある家。外部の視線を通さないように配慮した外観の内側に、非日常を感じさせるホテルライクな美しさと高い機能性を併せ持つ空間が広がります。中でも設計士がこだわったのは、シックなLDKと大開口を通してつながる、アウトサイドリビングとしてのバルコニー。外に閉じながら内に開く、この一邸を象徴する空間で

モレス公式サイトで詳しくご紹介しています



これからも  
挑み続ける心を  
大切に。

奥井宏

(株)FM802代表取締役社長

高沢秀志

株モレス代表取締役

### モレスプレミアム コンセプトハウスにて

2024年10月下旬の爽やかな秋晴れの日、  
西宮七園の一つ、苦楽園の邸宅街にある  
「モレスプレミアム コンセプトハウス」にて行われた  
モレス創業20周年記念の対談企画。  
とても気持ちの良い天候も相まって、終始会話が弾んでいました。

### それぞれの挑戦 — FM802と モレスが歩んできた道

高沢(モレス)…奥井社長、今日はお忙しい中、ありがとうございます。私たちモレスは今年で20周年を迎えたのですが、FM802さんは35周年ということ、本当に長い歴史がありますよね。35年間、音楽で関西をリードし続けてこられた秘訣は何でしょうか？

奥井社長(FM802)…こちらこそ、お招きいただきありがとうございます。ご存知の方もいらっしゃると思いますが、35年前、FM802はものすごくとんがった放送局としてスタートしました。それまでの概念や常識から外れるような番組づくりは、正直なところ「冒険」だったと思います。初めは、いろんなところから反発みたくないものを受けたようですが、これまで一貫してFM802らしいスタイルを重ねてきたことが私たちの強みになっていると思います。

高沢…なるほど、FM802らしいスタイルを貫くことが大切ということですね。しかしながら、どうやってその方針を継続できたんでしょうか？

奥井社長…FM802は、自由な発想とエッジの効いた企画で自主制作にこだわ、関西ローカルにこだわってきました。そして、自分たちの信じる音楽を届けることをずっと続けてきました。今思えば、それがFM802のアイデンティティを築いたと思います。

高沢…それは素晴らしい!! 私たちモレスも、20年前の創業当初から「他にはない家をつくる」という思いを持っていました。やはり最初は厳しかったです。ある時、設計士の先生と一緒に考えた住宅で、通常では考えにくい南向きの窓がない設計を提案したことがありました。「こんな家、売れるのか？」と自分でも少し不安でしたが、完成した家はシンプルモダンのすごくかっこいい家で、本当に目から鱗でした。お披露目した時にその斬新なデザインがお客様に大変評価され、そこからモレスらしいスタイルが生まれてきました。

奥井社長…モレスさんもまさに、「冒険」と「挑戦」の歴史ですね。FM802でも、挑戦を続けることが大切だと感じています。35周年を迎えた今年、「関西発、ラジオ発、音楽でみんなを幸せにする」をテーマに、「Be FUNKY!!」という言葉を掲げ、もう一度、ファンキーなエッジの効いたことをやろうとしています。昔とは違う状況のなかで「どういう新しいことができるか」を社員みんなで考えてやっていたことと

高沢…「Be FUNKY!!」、いいですね。

のライフスタイルに合わせた自由設計や環境性能の向上に力を入れるなど、常に新しい提案ができるよう心がけています。また、「生涯のお付き合い」をテーマに、確かなアフターサポートで安心をお届けする取り組みを進めています。

**奥井社長**…家づくりにはその人の人生が詰まっていますもんね。FM802でも、リスナーとの関係は長く続けていくことが重要です。特に、私たちはイベントを大切にしている、リスナーとアーティストがリアルに触れ合う場を提供しています。コロナ禍ではイベントができず、リスナーとの接点が減ってしまったのは非常に痛手でしたが、最近ではイベントが再開され、久しぶりにアーティストのライブを聞いたリスナーが涙を流して喜んでいた姿を見て、音楽の力を改めて感じました。

**高沢**…やはり、直接の接点があるとお互いの絆が深まりますよね。絆というのはとても大切なことで、私たちがFM802さんのラジオ広告を通じて、モレスの家づくりを知っていたただく機会を得ています。最初は効果が見えにくい部分もありましたが、続けていくうちに「FM802でモレスを知りました」と言ってくださるお客様が増えてきました。

**奥井社長**…それは嬉しい話ですね。ラジオ広告というのは、「瞬で効果が出るものではなく、じっくりと信頼を築いていくものです。だからこそ、モレスさんのように長期的に広がつて、暮らすしあわせのような気持ちまで感じていただければと思います。

### 愛されるブランドへ—— 新しいもの、 良いものに触れる大切さ

**高沢**…話は変わりますが、日頃から、新しいもの、良いものに触れるために心がけていることはありますか？

**奥井社長**…いろんな新しいものに触れるために、人と会ったり、さまざまな場所に足を運んだり、他地域のラジオ局と交流を深めたりしています。私の好きな早稲田大学の教授が「想像力は移動距離に比例する」と言っています。ずっと同じ場所においても、新しい発想は生まれにくいということですね。

**高沢**…おっしゃる通りですね。私も家づくりにおいて、新しい発想や良いものを見ることが重要だと考えています。やはり、ブランド価値の高いものを提供するには、時代の変化に合わせて新しいことに挑戦し続ける、そうした積極的な取り組みが必要です。20年間の実績を基盤にこれからも、住まいにこだわりのあるお客様に向けた新しい魅力をお届けできると信じています。そしてお客様が「モレスの家に住んでいる」と誇れるような、そんなブ

にブランドを育てていく会社にとつて、ラジオは良いパートナーになるんだと思います。

### コンセプトハウス—— 暮らすしあわせまで 感じてほしい

**高沢**…本日、奥井社長に、私たちモレスが最近力を入れている「コンセプトハウス」を実際にご覧いただけたことが嬉しかったのですが、率直なご感想を伺えればと思います。

**奥井社長**…完成度が高くて、素晴らしかったです。「自分の部屋としたら、もうちょっとここはこう変えて」とか、ここに自分が住むイメージがすごく湧いてきました。立地も含めて本当に魅力的です。

**高沢**…ありがとうございます。お客様にモレスの住まいを実際に体感していただきたいという想いで「コンセプトハウス」を企画しています。おっしゃっていたように、お客様ご自身のここに住むイメージが



シンプルモダンなダイニングキッチンにて

ランドに育てていきたいですね。そして忘れてはならないのは、西宮をはじめとする阪神間の地域の方々への感謝の気持ちです。これまで本当にいろんなかたちで支えていただきました。感謝の気持ちを忘れずに、いつまでも愛されるブランドになれるよう進んでいきたいと思っています。

**奥井社長**…モレスさんのように、家づくりという大きなプロジェクトに情熱を注ぎ続けている会社さんと一緒に仕事ができるのは本当に光栄です。これからも、関西の暮らしや文化を盛り上げていきましょう。本日はありがとうございます。

**高沢**…こちらこそ、本日は貴重なお話をありがとうございました。FM802さんとの連携をこれからも大切にしながら、私たちモレスも地域のみなさまにもっと喜んでいただける家づくりを続けていきたいと思っています。



開放感溢れるコートヤードにて



## 高沢 秀志

(たかざわ ひでし)

兵庫県西宮市出身。大学卒業後、不動産業に携わった後40歳で独立。「住みやすくかっこいい家」を提供したいと不動産売買から注文住宅まで手掛けるように。「お客様が要望するもの+α」を基本に「地域のオンリーワン企業」を目指す。これまで提供してきた家は、1,000邸にも上る。



皆さまに支えていただき、私にとって、この20年はとても幸せな時間でした

### Thanks Message

お世話になった地域に恩返しできればと思っています。たとえば公園を設計して西宮市に寄贈したり、住宅の設計を志望している大学生や専門学校生をインターンシップに招いて設計を学んでもらったりするなど、将来的に地域貢献、社会貢献ができるようこれからも頑張っていきたいと思っています。

これからも、音楽を通してみんなをしあわせにできる存在でありたい

### Thanks Message

FM802は大阪の放送局。ラジオはやはり地域密着なので、音楽を中心にいろんな情報を発信して、関西の人たちの心に寄り添っていききたい。朝や夕方、静かにラジオを聞きながら、ゆったりと時間が流れていく幸福感のようなものをどんどん提供していければと思っています。



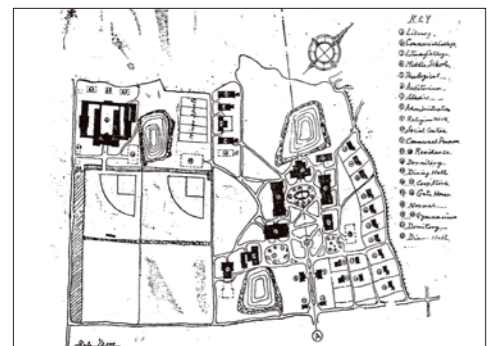
## 奥井 宏

(おくい ひろし)

大学卒業後入社した広告代理店でスポンサー業務に従事し、FM802とも関わりを持つ。1993年、開局5年目の株式会社FM802に入社。営業部に配属、大阪本社で営業を担当する。その後東京支社に転勤となり、広く東阪のクライアント・広告代理店との仕事に従事。「春のACCESS! キャンペーン」、「REQUESTAGE」、「MINAMI WHEEL」の立ち上げにスポンサー営業として携わる。

「壁や窓の装飾も細やかですね。ヴォーリスが心をこめて設計したことが分かります」と瀬戸山。案内役の大学博物館学芸員倉田麻里絵さんから、この意匠の大半が1世紀近くも前からのものだと聞き、さらに感慨を深めたようです。

倉田さんのご案内で中に入ると、装飾が施された天井と石積み風の壁、モザイクタイルの床に囲まれた玄関ホールが広がり、正面には重厚な石造りの階段が。階段上部には吹き抜けの窓があり、降り注ぐ光が来訪者を2階へといざないます。



1928年頃に描かれた西宮上ヶ原キャンパス配置図。図面中央やや右には、校門から時計台を貫いて甲山山頂へと伸びる軸線が書き込まれている(図版提供:関西学院大学博物館)



W.M.ヴォーリス

アメリカ・カンザスに生まれ、1905年に24歳で伝道のために来日。建築は独学だったが、神戸女学院・大丸心齋橋店・東洋英和女学院旧校舎などの名作を数多く残した(図版提供:公益財団法人近江兄弟社)



1927年に描かれた時計台(当時は図書館)の玄関・外壁詳細図。細部まで丁寧に書き込まれた意匠は、大部分が現代に受け継がれている(一粒社ヴォーリス建築事務所 所蔵)

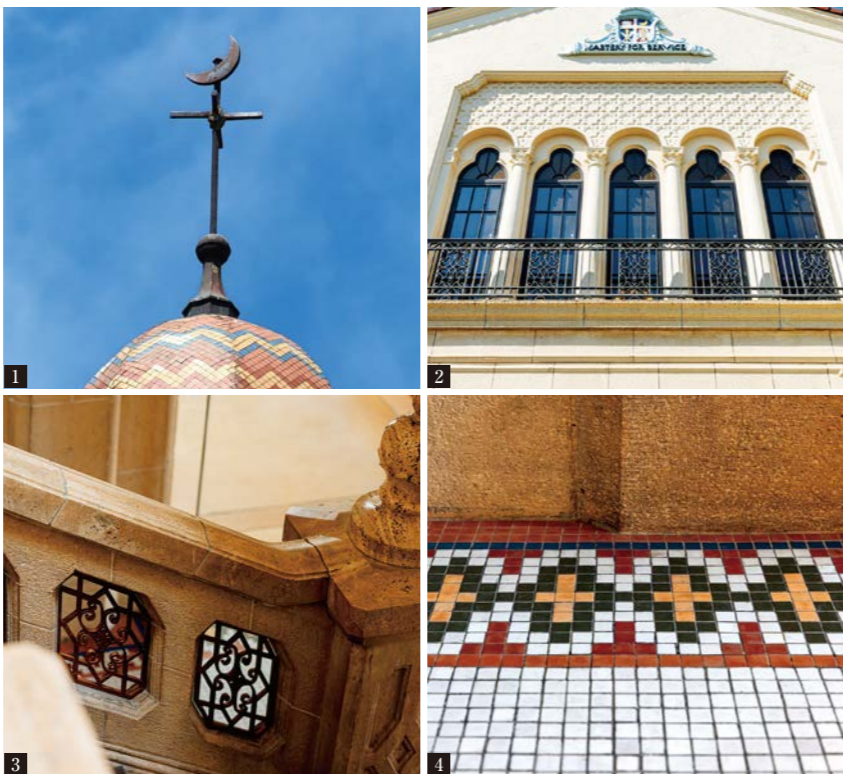
## 100年近くの時を経て なお美しい表情を見せる W・M・ヴォーリスの名作

西宮市の中心市街地の北、上ヶ原と呼ばれる丘陵の住宅地を上つていくと、並木道の正面に左右対称の美しい建物が見えてきます。それは関西学院大学西宮上ヶ原キャンパスのシンボルとも言える「時計台」。明治から昭和まで、日本の近代建築に大きな足跡を残したウィリアム・メレル・ヴォーリスの名作です。

今回訪れたのはモレス設計部の建築家・瀬戸山。彼がまず目を留めたのは、スペインシム・ミッシンスタイルのデザインでした。かつて米国西海岸に点在した修道院(ミッシン)に由来する様式で、クリーム色のスタッコ壁とスペイン風赤瓦が特徴です。



「日本屈指の美しさ」と言われる西宮上ヶ原キャンパスの芝生広場越しに見る時計台と背後の甲山。キャンパス中心部を貫くこの軸線を、ヴォーリスは設計当初から重視した



- 1 時計台頂上にあるモザイクタイルのドーム上には、校章である三日月が輝く
- 2 2階正面の手すりは戦時中に供出された後、戦後に復元・設置された
- 3 滑らかな曲線を描く階段手すりは、W.M.ヴォーリス建築の特色の一つ
- 4 竣工当時から1階ホールの床を彩ってきたカラータイル



関西学院 校章

# 名建築を訪ねて

モレスが目指す建築の理想を、名建築を訪ねるシリーズ。  
第2回は、西宮市にある関西学院大学のシンボル「時計台」です。



国登録有形文化財  
Vol. 02  
関西学院大学 時計台  
(関西学院大学博物館)  
【兵庫県 西宮市】

1929年に竣工した関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス。その中心的存在である時計台は、当初は図書館として設計された。外観全体には美しい装飾が施され、2階正面の窓の上には、学院のスクールモットー「Mastery for Service(奉仕のための練達)」と記された紋章が掲げられている。

※掲載の写真は、特別な許可をいただいて撮影したものです。



博物館2階の展示室で語り合う瀬戸山(左)と倉田さん(右)。高い天井と明るい窓を備えたこの場所は、特別な開放感に満ちている



1階ロビーから2階へと続く石造りの重厚な階段。その先には明るい吹き抜けの空間が待ち受ける

使う人の心に寄り添う  
丁寧で美しい空間

しつくりと手になじむ手すりに触れながら階段を上り2階へ。明るい光が差し込む縦長の5連窓、アーチ型の梁に支えられた高い天井などが、この空間に豊かな開放感をもたらしています。「玄関ホールの天井がやや低い分、この空間のゆとりが際立ちますね」と、瀬戸山が空間構成の巧みさを指摘します。

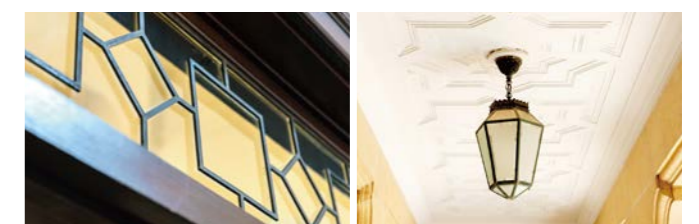
倉田さんによれば、当初は図書館だったこの時計台で、2階は図書閲覧室だったそう。そのためか、1階ホールに比べると室内の意匠も落ち着いた印象です。

「1・2階に二貫しているのは、細部まで丁寧な仕上がりです。今、これほどの空間をつくるのは、技術的にも資金的にも難しいでしょうね」という瀬戸山の言葉に、この建物を築いた人々、守ってきた人々の真剣さを改めて実感しました。

時計台とそれを取り巻く風景からは、背景となる甲山の高さから各施設の配置、風や光にまで及ぶ、W.M.ヴォーリズの綿密な計算がうかがえます。だからこそ1世紀近くを経た今も、その美しさは色あせることがないのだと思います。この貴重な建物がこれからも受け継がれることを祈りつつ、キャンパスを後にしました。



2階手すりの装飾は、かつてのアイアンワークを学生たちが復元したもの(木製装飾)



創建時の姿を伝える玄関扉上の装飾金物 天井の装飾と照明も創建時のままと思われる

▶時計台内部アイアンワーク(鉄製装飾)復元のための寄付金募集のお知らせ

関西学院大学博物館では、開館10周年を記念し、戦時中の金属供出で失われた時計台内部の階段手すりに施された美しいアイアンワークを復元するプロジェクトを立ち上げられました。このプロジェクト実現のため、皆さまからのご寄付を募っております。詳しくは、右のQRコードからご確認ください。



寄付金募集チラシ



関西学院大学 時計台(大学博物館)

〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155  
TEL: 0798-54-6054(受付時間/平日9:00~16:00)  
URL: <https://www.kwansei.ac.jp/museum>

◎開館日/月曜日~土曜日  
◎開館時間/9:30~16:30(入館は16:00まで)  
※開館日・開館時間などにつきましては、直接お問い合わせください。



関西学院大学博物館  
(公式ホームページ)



上ヶ原の学園花通りから望む時計台と甲山。入学シーズンには、咲き誇る桜並木が新入生たちを出迎える

名建築を訪ねて Vol.02 | 訪問した人 株式会社モレス 瀬戸山 僚

今回、関西学院大学 時計台(大学博物館)を訪れたのは、モレスの建築家である瀬戸山 僚。家族の生活を豊かにする空間づくりをテーマに、既成概念にとらわれない、心地良い驚きのある住まいを常に目指している気鋭のアーキテクトです。



株式会社モレス  
(公式ホームページ)

広大なキャンパス内には  
W.M.ヴォーリズが手掛けた  
建物が今も数多く残ります

旧院長室がある学院本館(旧総務部)をはじめ、西宮上ヶ原キャンパス内に併設された旧宣教師館(外国人住宅)もW.M.ヴォーリズが設計したもの。当時の人たちの息吹が今も感じられます。



時計台近くの学院本館(旧総務部)2階にある旧院長室(※)。院長はこの窓から時計台や芝生広場の学生たちを眺めたという※旧院長室は非公開です



W.M.ヴォーリズが手掛けた旧宣教師館は、迎賓館として今も現役

モレスの住まい、  
モレスの人

#002  
泉大津市 N様邸

二つの庭で  
自然と  
つながる家



広々とした明るいリビング・ダイニングで、  
愛犬と戯れるN様ご夫妻。  
外には陽光に満たされた中庭が広がる。



シンプルモダンなデザインが美しいリビング・ダイニングとキッチン。写真右奥に、「眺める庭」と植えられたシマトネリコ(※)が見える  
 ※5月下旬から7月にかけて枝先に小さな白花が咲くトネリコ属では数少ない常緑樹です



水盤側から見た「楽しむ庭」の午後。夏はここでバーベキューを楽しむこともあるという。奥の窓の向こうには独立した和室がある

## まるで一つの空間のような、リビングと二つの庭

南海本線「松ノ浜」駅の近く。かつて緑豊かな海辺の別荘地として知られ、今も大きな住宅が並ぶ街の一角に、今回のN様邸はありました。モノトーンで統一された外観が、力強い存在感を放ちます。玄関を入るとまず目に入るのが、大きなビクチャーウィンドー。その向こうには明るい庭が広がり、ご家族やお客様を迎えてくれます。

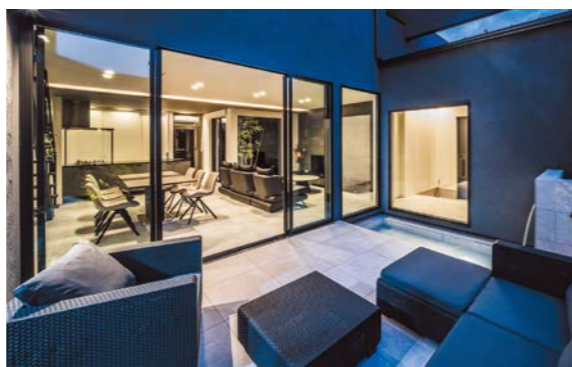
さらに奥へ進むと、開放感溢れるリビングダイニングと二つの庭が現れます。庭との境界は天井まで届く大きな開口部となっており、見すると全体が一つの大

広間のような感じです。「リビングと庭が一体化した空間にしてほしい」というご主人のこだわりに応えたこの場所は、ご家族みなさまのお気に入り。大きなガラス戸を開け放せば、自然の光や風がこの広い空間を満たします。

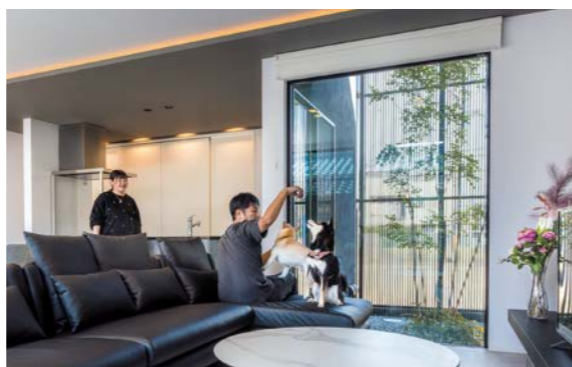
二つの庭には、それぞれ特色があります。水盤のある庭は、いわば「楽しむ庭」。晴れた日にはご家族で食事を楽しんだり、夕暮れ時にはご主人の読書スペースになったりもするとか。もう一つの庭は、縦格子とシマトネリコの樹とのコラボレーションが美しい、いわば「眺める庭」。一番のファンは、愛犬たちだそうです。「何かといえは庭を眺めていますね。おかげでガラスが鼻の跡だらけですが」というご主人の言葉からも、この邸宅に寄せるご家族の愛着が伝わってきます。



玄関からビクチャーウィンドー越しに眺めた「楽しむ庭」は、まさに絵画のような



「楽しむ庭」から眺めたリビングの夜景。親密であたたかな雰囲気は、昼間とはまた違う印象



「眺める庭」のそばで、ご主人に甘える愛犬たち。庭に見えるシマトネリコは、木漏れ日の印象が爽やかな常緑樹

## シンプルで力強いモノトーンの空間をつくるために

シンプルで力強い住まいを実現するために、N様邸の意匠はシンプルモダンが基調。白グレー・黒のモノトーンでまとめたこの空間は、奥様のご要望でした。ひと口にモノトーンと言っても、そのニュ

アンスは人によってさまざま。同じグレーであっても、素材の質やサイズによって印象は違ってきます。さらに生活空間としての清潔感や後々のお掃除のしやすさ、ふさわしい家具についても検討しておかねばなりません。お二人とは、こうした

点で何度も打ち合わせを重ねました。「例えば、階段を黒にしたいという希望を出すと、すぐに参考になる施工写真を見せてくれます。その上でこう聞かれるんです。「いい色ですね。でも、汚れもめっちゃくちゃ目立ちますよ。それでもよろしいですか?」って」

住まいづくりとは、オーナーの夢を形にするプロセスですが、その理想と現実はいつとも致すとは限りません。「その時、こちらの要望を丸飲みするだけなのか、それともプロとしての知識や経験をもとに、より良い設計を提案するのか。モレスさんは明らかに後者でした。しかも一つひとつのプロセスが早い。だから、安心してお任せできたのだと思います」



奥様こだわりのバスルームは、リクライニング浴槽や多機能シャワーなどを備えたメーカーの最上位システムを採用

「家づくりの打ち合わせがこんなに楽しいなんて」  
 今回のお二人の住まいづくりには、あるきっかけがありました。それは、奥様がこだわりの持っていたお風呂。「最初はお風呂が二つある家が欲しいと思って、あちこちの住宅会社に問い合わせしてみたんです。ところが、どこに行ってもきちんと話を聞いてもらえない。その中で唯「面白そうですね。詳しくお話を伺わせてください」と前向きに伝えてくれたのがモレスさんでした」

その後、過去の当社の作品やモデルハウスのテイストなどをご覧になったお二人は、当社との契約を判断。具体的な打ち合わせがスタートしました。お二人によれば、決め手は「自分たちの本当の思いに込めようとする姿勢だった」という嬉しいお言葉をいただきました。  
 「最初は、こちらの要望なら何でも聞いてくれそうに思っていたんですが、実はそうではなくて(笑)。それはおすすめできませんね、とかズバズバ言ってくる。でも、そこには建築のプロとしての判断がちゃんとあって、それを上回る提案が必ず一緒なんです。これは信頼できる会社だな、と」



N様邸の外観夜景。ルーバーの縦ラインとシマトネリコのコーポレーションは、ご主人一番のお気に入り



松ノ浜の青空を背景にしたN様邸。寡黙なモノトーンの外観が、住み手の美意識を雄弁に物語る

モレス公式サイトで詳しくご紹介しています



2階への階段から眺めたリビング・ダイニングの全景。シャープなモノトーンのテーブルやチェアも、一つひとつモレスと相談して選んだという

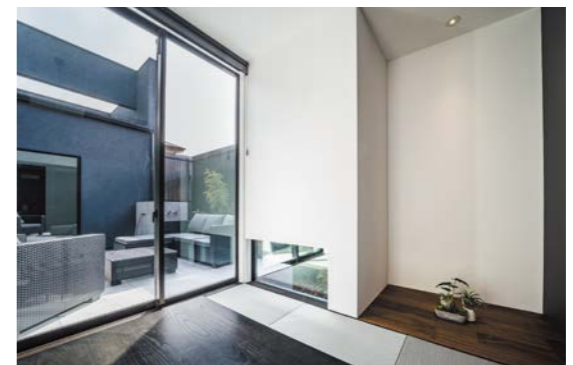
## こだわりの「家事らく」プランで快適生活を実現

生活空間としての使いやすさについても、きめ細かな工夫が重ねられています。例えばリビング・ダイニングの一角に設けられたキッチンは、ワイドなアイランドタイプと、壁面の収納スペースとの組み合わせ。家族やお客様との会話を楽しみながら、必要なモノをさっと取り出せます。  
 また、家事スペースは、バスルーム、洗面室、家事・洗濯室を一直線にレイアウトし、快適な回遊性を確保しています。ムダのない動線のおかげで、入浴・洗面から着替えた服の洗濯・後片付けまでが、スムーズに行えます。

徹底した「家事らく」プランを要望されたのは、実はご主人。「おしゃれな感じにもしたいし、日常生活もすぐく楽しみたい」というオーダーにお応えするため、このレイアウトが実現しました。  
 もう一つ、ご夫妻に喜んでいただいたのが、断熱性能の高さ。広々とした空間、大きな窓やガラスの開閉部などは、断熱の点でマイナスになりそうですが、最初の夏からエアコン1台だけでまったく暑さは感じなかったとのこと。優れた断熱性能は、コストパフォーマンスの良さにもつながって、高い評価をいただいています。



二つの庭の風景が楽しめるアイランドキッチン。ふだんのお食事からお客様を招いてのパーティーまで、幅広く活躍



1階和室は、床を一段下げて落ち着きを演出。窓の外には、「楽しむ庭」の開放的な風景が広がる

## 感性に響く、特別な体験を。

優れたロケーションの住宅地を選び、  
ゆとりある敷地に独自の住まいをお届けする  
モレス<最上級>ブランド、モレスプレミアム。  
モレス渾身の邸宅を、実際の建物にてご体感いただけます。

### MORES PREMIUM CONCEPT HOUSE

#### 実質的な価値

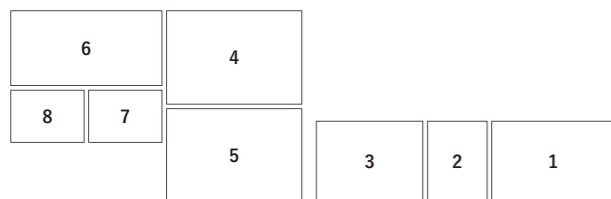
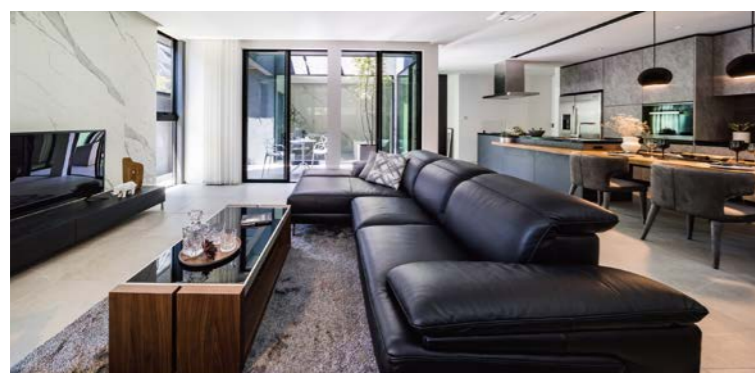
デザインや品質、素材、  
設備、仕上げなどの  
確かな価値

- デザインと品質
- 素材と仕上げ
- 環境に配慮した住性能
- 設備の充実など

#### 情緒的な価値

住空間のコンセプトや  
ブランドが提供する  
情緒的な価値

- 光や風、漂う空気感や  
感覚的な居心地
- つくり手の想いとこだわり
- 空間のコンセプトと世界観
- ブランドとしての価値



1. 開放感溢れるリビング 2. 玄関ポーチに設けた水盤 3. 暖炉があるリビング4.  
外にセカンドリビングがある家 5. ビルトインガレージからホームエレベーターで  
LDKへ 6. 30帖以上の大型リビング 7. 主寝室、WICとつながるシャワーブース  
8. 6帖以上のWIC

見て、触れて、  
感じることを  
大切にしたいから

お客様にコンセプトハウスでぜひ体験  
していただきたいこと。それは、五感いっ  
ぱいにモレスプレミアムの世界を感じてい  
ただくことです。  
デザインや品質、素材、設備、仕上げな  
どの「こだわり抜いた実質的な価値」は  
もちろん、光や風、空間に漂う空気感や  
居心地といった「感性に響く情緒的な価  
値」にも触れていただきたいと考えてい  
ます。この体験を通して、つくり手の想い

やモレスブランドの世界観を少しでも感  
じ取っていただければと思います。  
住まいとは、数値だけで表せるもの  
はありません。  
やはり、見て、触れて、感じることで、  
新しい発見や憧れていたものに出会って  
感動したり、共感したり、納得したり、  
ときには疑問に思ったりしながら、ご自  
身の住まいの理想を描いていくことが  
住まいづくりには大切なのではないで  
しょうか。  
私たちモレスは、そのようなお客様の  
気持ちに寄り添いながら、理想の住ま  
いづくりに少しでもお役に立ちたいと願っ  
ています。



MORES®  
PREMIUM  
CONCEPT HOUSE

## 感性に響く、 特別な体験を。

モレス設計部 瀬戸山 僚が語る  
「モレスプレミアム、  
コンセプトハウスに託した想い」

ARCHITECTURE  
R. SETOYAMA

コンセプトハウスについて  
簡単に紹介します

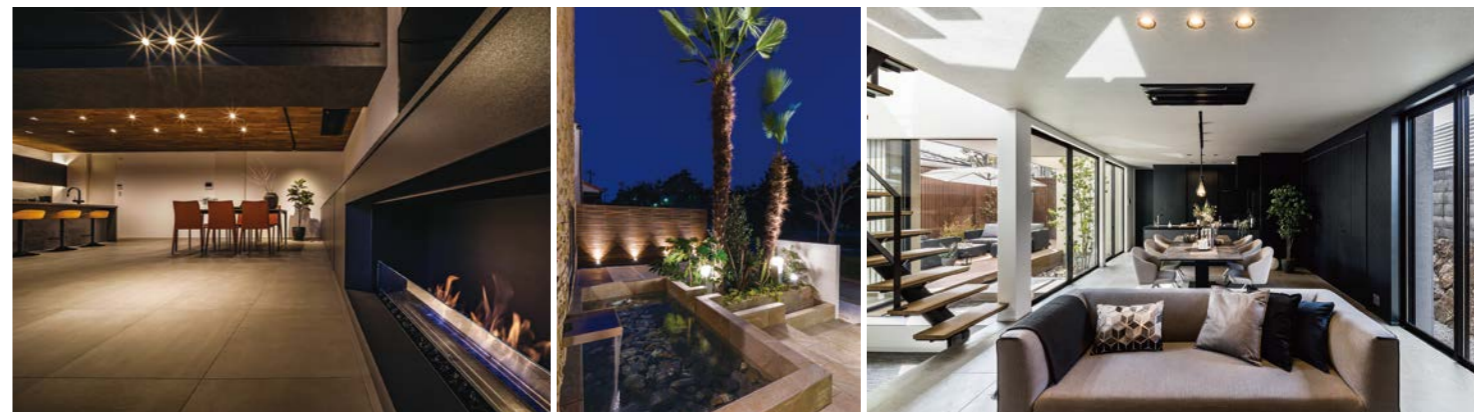
モレスプレミアムは、優れたロケーション  
の住宅地を厳選し、ゆとりある敷地に独  
創的で洗練された住まいをお届けして  
います。コンセプトハウスは、モレスプレミ  
アムブランドの住まいを、実際にご体感  
いただくために企画したものです。ご見学  
いただくことで、細部に至るまでモレスの  
住まいづくりへのこだわりを感じてい  
ただける場となっています。

これまで、西宮、芦屋、神戸といった阪  
神間でも屈指の住宅地に数多くのコンセ  
プトハウスを建築してきました。

それぞれの立地環境やロケーション、街  
の歴史や由緒といった要素に配慮し、こ  
の住まいに暮らす人やご家族のあるべき  
ライフスタイルをイメージしながらテーマ  
やコンセプトを設定し、それぞれに個性  
豊かで独創きわだつ邸宅をつくり上げ  
ています。

また、理想の暮らしのイメージをより  
いっそう高めていただくために、インテリ  
アスタイルにこだわり、トータルなコー  
ディネートを行っています。テーブルや椅  
子、ソファなどの家具から照明器具、生活  
雑貨、さらには植栽や観葉植物まで、空  
間やコンセプトに調和したアイテムを選  
び、居心地の良い空間を演出しています。

これまでのコンセプトハウスから特徴的な空間や仕様をご紹介します





MORES®  
PREMIUM  
CONCEPT HOUSE

これまでお届けしてきた  
コンセプトハウス



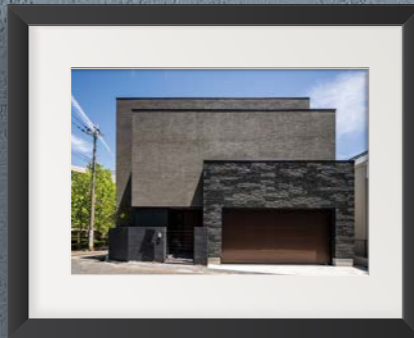
空と調和する  
オープンリビングの家



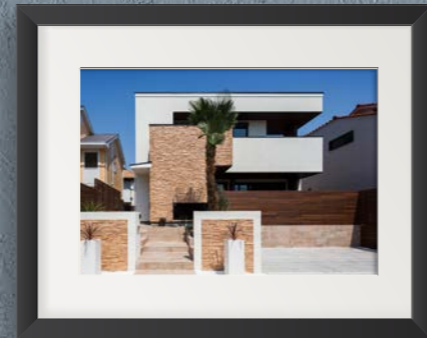
水盤のある家



アウトサイド  
リビングのある家



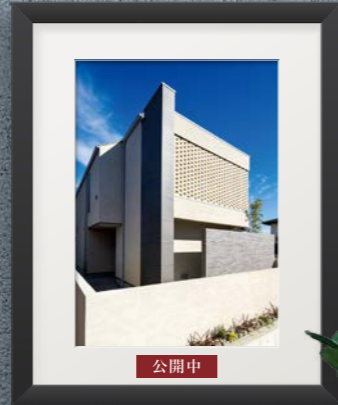
愛車と暮らす  
ガレージハウス



アジアリゾートの家



空に近い家



重厚感と開放感が  
織りなす住まい

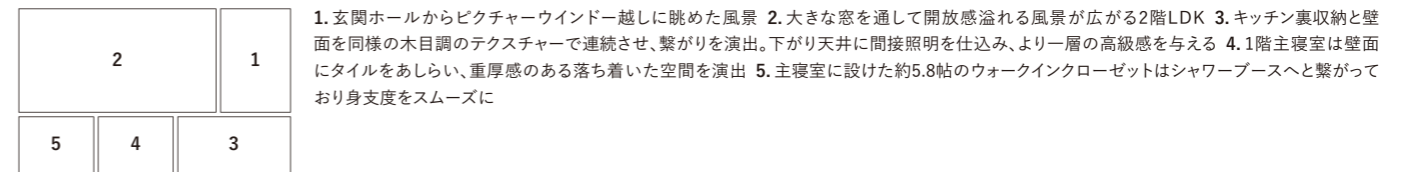
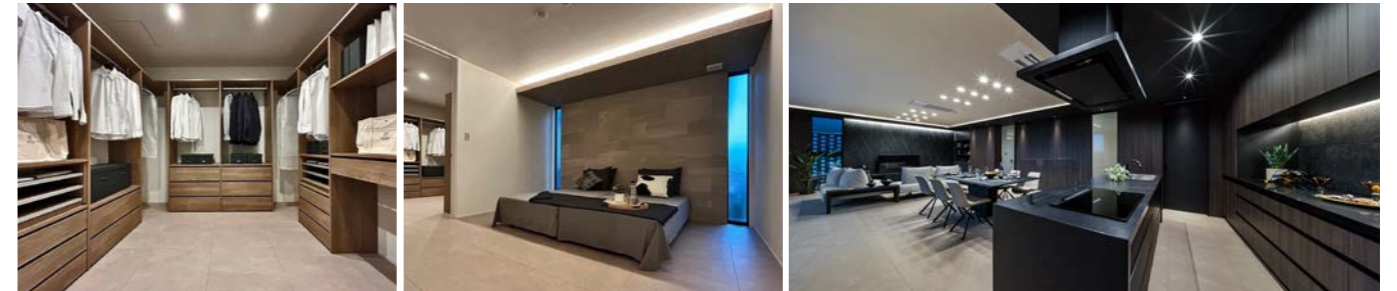
公開中

これからも、感性に響く特別な体験をお届けしていきます。  
乞うご期待ください。

モレス公式サイトで詳しくご紹介しています



最新のコンセプトハウスは、「重厚感と開放感が織りなす住まい」がテーマ。  
モレスプレミアムの最新コンセプトハウスが佇むのは、芦屋市の丘陵地。力強いフォルムがひととき印象的です。  
設計テーマは「重厚感と開放感が織りなす住まい」。例えば外観デザインでは、量感溢れる躯体を基本としつつ、2階LDKの外部に透かし積みのレンガスクリーンを採用。陽光が生み出す陰影が建物の表情に変化をもたらし、ほどよい抜け感で邸宅の存在感を際立たせました。  
また、室内デザインは重厚なダークトーンをベースとする一方、要所に明るい色彩を配し、重すぎない中に落ち着き溢れる空間を創出。玄関ホールのピクチャーウィンドーから見える緑の借景も、心地よい開放感を演出します。  
さらに、大型壁面収納と組み合わせた2階アイランドキッチンにはパントリーと水回りが隣接、主寝室にはウォークインクローゼット・シャワーブースを設け、身支度が1階で完結するようにした動線計画など、日常生活に細かく配慮した設計・設備も、私たちのこだわりの一つ。ぜひコンセプトハウスにお越しいただき、2階LDKの大開口から広がる街の眺望や、快適な暮らしのためのディテールを体感ください。



1. 玄関ホールからピクチャーウィンドー越しに眺めた風景 2. 大きな窓を通して開放感溢れる風景が広がる2階LDK 3. キッチン裏収納と壁面を同様の木目調のテクスチャーで連続させ、繋がり演出。下がり天井に間接照明を仕込み、より一層の高級感を与える 4. 1階主寝室は壁面にタイルをあしらひ、重厚感のある落ち着いた空間を演出 5. 主寝室に設けた約5.8帖のウォークインクローゼットはシャワーブースへと繋がっており身支度をスムーズに

- ◎150㎡超の空間に大型LDK・主寝室・2居室を賢沢に配置
- ◎外部へのセキュリティと内部の開放感を両立させた空間構成
- ◎計算された光と影が暮らしを優しく包む採光・照明計画
- ◎エントランス前に愛車2台分のオープンガレージを確保

DATA

所在地 / 兵庫県芦屋市朝日ヶ丘町  
敷地面積 / 221.31㎡  
建築面積 / 85.05㎡  
延床面積 / 157.74㎡  
竣工年月 / 2024年11月

モレス公式サイトで詳しくご紹介しています



▶ 本誌分譲地情報(P21)でご案内しています



透かし積みの  
レンガスクリーン